

平成26年度第3回青森市指定管理者選定評価委員会（会議概要）

- 1 対象施設 アップルヒル
- 2 開催日時 平成26年10月30日（木） 14:00～16:00
- 3 開催場所 青森市役所議会棟4階第1委員会室
- 4 出席者
 - (1) 選定評価委員 委員長 相馬 紳一郎（市民政策部次長）
副委員長 鈴木 裕司（総務部理事次長事務取扱）
委員 能代谷 潤治（健康福祉部理事次長事務取扱）
委員 岩船 彰（青森中央学院大学教授）
委員 佐々木 信一（東北税理士会青森支部税理士）
 - (2) 施設所管課（事務局） 農業政策課 課長 工藤 智
主事 中村 康太
 - (3) 制度所管課 政策推進課 課長 佐々木 淳
主幹 福島 清裕
主事 小野 寛史
- 5 欠席者 舘田 一弥 委員（財務部理事次長事務取扱）
成田 聖明 委員（教育委員会事務局理事教育次長事務取扱）
- 6 議題 指定管理者候補者選定に係る審査
- 7 会議概要

(1) 応募資格

事務局から、応募団体が応募資格要件を全て満たしていることを確認した旨を報告。
（質疑なし）

(2) 選定基準による審査

【収支計画】

事務局から、市の指定管理料基準額及び応募団体の指定管理料提案額を説明。

委員：収支予算書と決算報告書の収入額に開きがあるのはなぜか。

事務局：応募団体は指定管理業務以外にも、独自に事業を行っているためである。

【管理運営方針】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。

委員：事業計画書にある「観光コンシェルジュ」とは何か。

事務局：来場者に対し、地域や観光に関する情報を提供する職員のことである。

委員：新たに職員を雇うのか。

事務局：現在いる職員の中から、関連する検定等に合格した者を配置する。

委員：施設内のどこに配置するのか。

事務局：具体的な配置場所等については、今後検討することとしている。

【地域や関係団体との連携】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

【地元雇用への配慮】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

【職員等の配置計画】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。

委員：配置する職員の中には、応募団体である「株式会社アップルヒル」の社長も含まれるのか。

事務局：含まれる。

【職員の雇用・労働条件について】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。

委員：パートは何人を予定しているのか。

事務局：2人を予定している。

【職員等の研修計画】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。

委員：平成24年度の研修について、モニタリングでは「改善が必要」と評価されている。その理由は何か。

事務局：当該年度は、他の年度と比べ、研修の回数が少なかったためである。

【施設管理計画】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。

委員：施設内に監視カメラは設置されているのか。

事務局：設置されている。

【防犯、防災、緊急時の対応に関する取組】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

【個人情報保護の取扱いに関する取組】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

【環境保全、負荷低減への取組】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

【市民の平等な利用を確保するための方針】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。
委員：応募団体は、テナントの業者をどのように選定するのか。
事務局：集客力等を考慮し、選定していると聞いている。

【利用者等の要望等の把握と反映方法】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

【サービス向上の対策】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。
委員：安全管理マニュアルは、これから作成する予定なのか。
事務局：これから作成する予定である。

【来館者を増加させるためのPR及びイベントの実施計画又は自主事業】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。
委員：県外催事販売及びPR活動とは何か。
事務局：地域の特産品である「おぼこいりんご」等を県外の道の駅等で販売することで、その魅力を県外に発信することとしている。

【道の駅及び産地形成促進施設等の活用方法】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。
委員：産直コーナーにおいては、生産者ごとの陳列から、品目ごとの陳列に変更するとしているが、事務局はどのように評価するか。
事務局：来場者にとっては、欲しい商品を探す手間が省けるため、利便性が向上すると考える。ただし、品目ごとの陳列とするのであれば、生産者名を商品に記載するなどの工夫も必要である。

【同種の施設管理業務の実績】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

(3) 審査結果

委員長：集計の結果、「株式会社アップルヒル」の得点は123.80点であった。
また、これは最低得点である85.0点を上回っていることから、当該団体を指定管理者候補者としてよろしいか。

委員：(全員、異議なし)

委員長：それでは、「株式会社アップルヒル」をアップルヒルの指定管理者候補者とする。